

# 南紀はまゆう式 マネジメントシステムの構築

研究概要

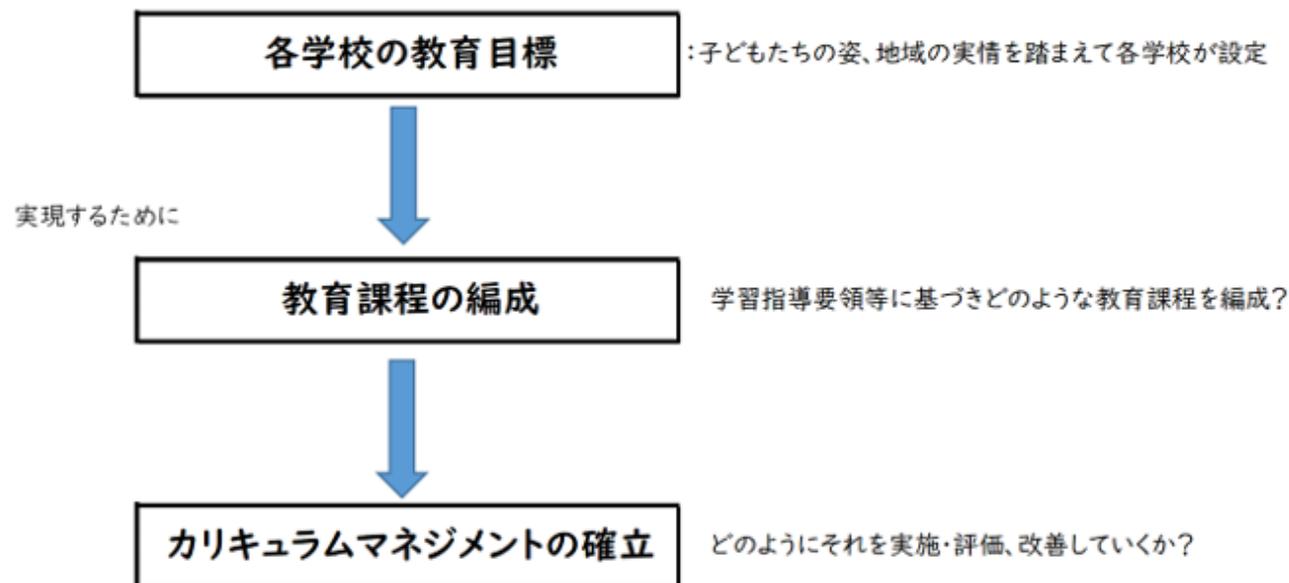
# 研修の内容

## ■統合校（南紀はまゆう支援学校）の教育課程を創り出す

### 教育課程

学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子どもの心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画

# 研修の内容



## カリキュラムマネジメントとは

- ①地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ③教育課程の実施に必要な人的または物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

を通して → 教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと

# 研修の内容

南紀はまゆう支援学校の教育課程を創り出すために  
PDCAサイクルを中心とした教育課程の充実、改善が求められる



そのために

これまでの年間指導計画、個別の指導計画、単元計画を確認、検討し、  
教育課程の改善を重ねていく『年間単元配列表の作成』システムを  
創り上げていく

# 研修の内容

## 単元配列表(算数・数学科)

EX: 小学部高ブロック <イメージ図>

時期	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
領域	数と計算			図形			測定/変化と関係			データの活用	
内容	整数		計算	図形の名称		辺と角	大きさ		時刻	表の活用	
単元	10までの数		加法・減法	ものの分類		描画	比較		時刻読み	○×を用いた表	

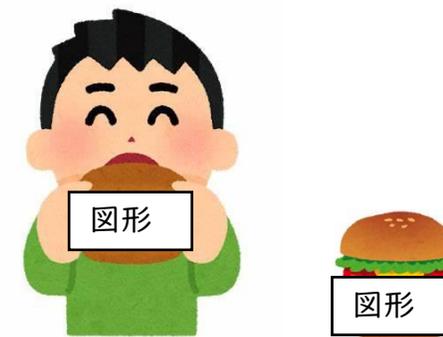
各ブロック、学年により、系統立てた単元の配列表があれば

- ・年間指導計画を立てる際の参考になる
- ・偏りのない(バランスのよい)学習状況を生み出すことができる

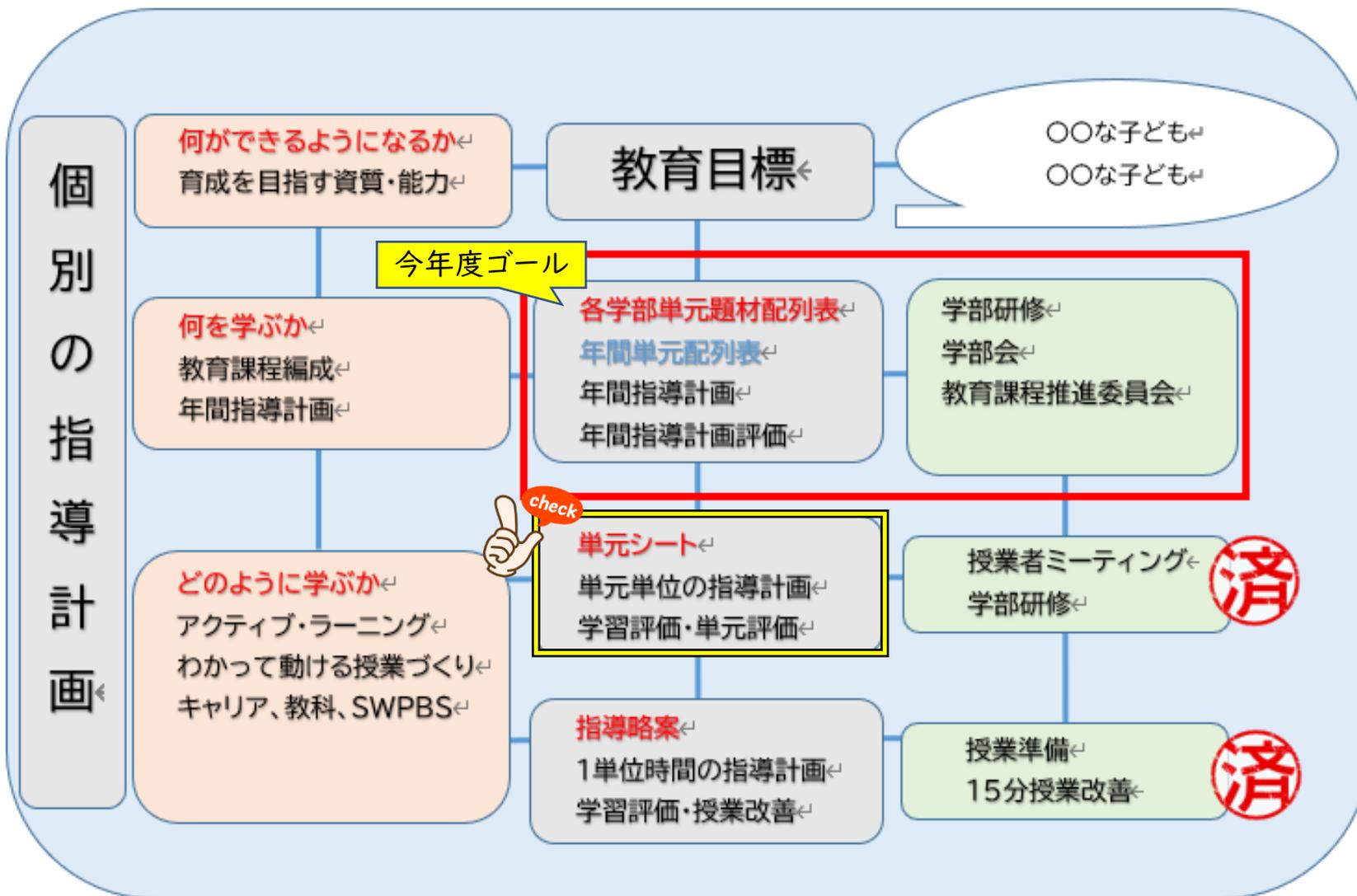


全ての領域をバランスよく学習

→ 学習到達度の向上に繋がる



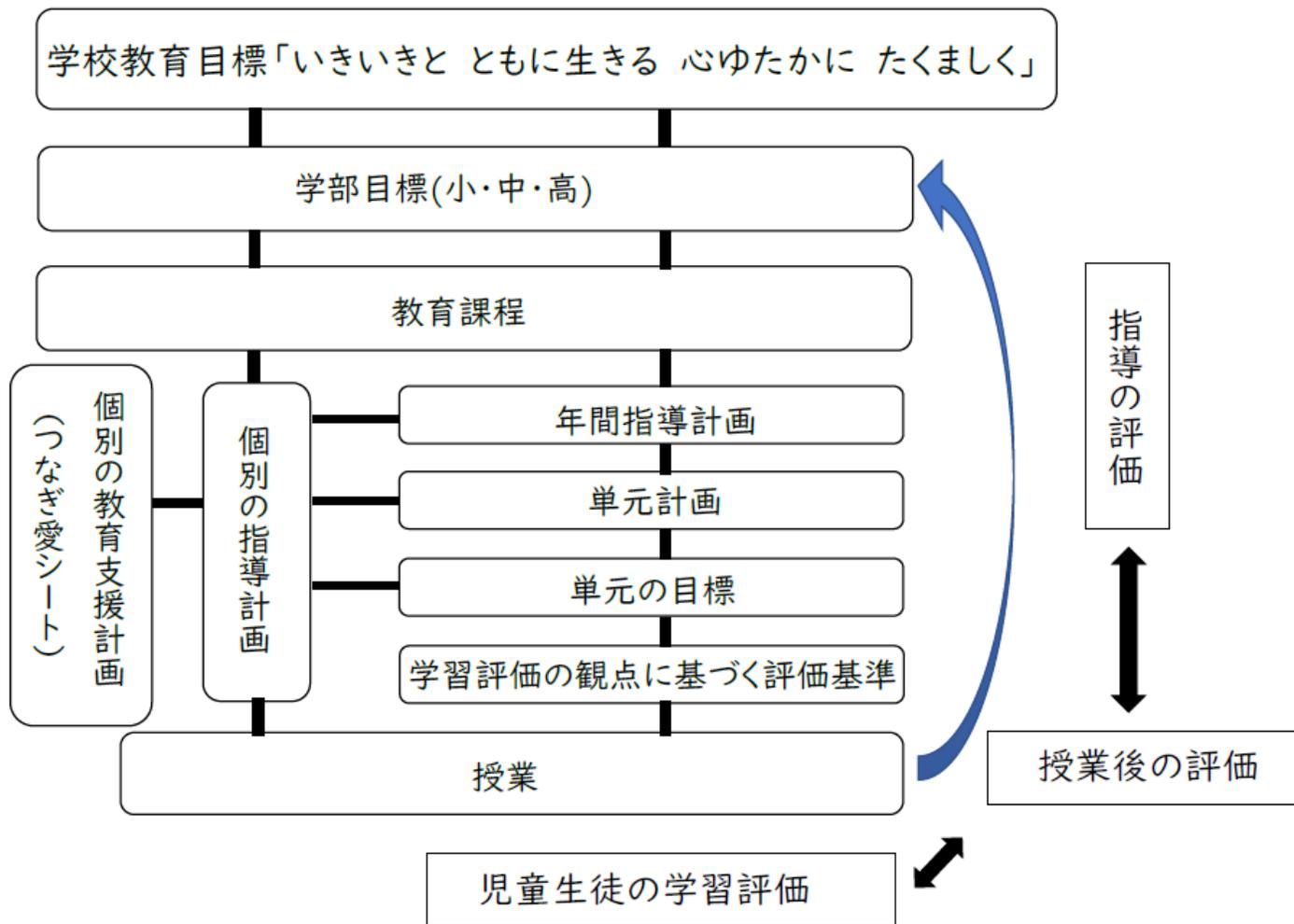
# 研修の内容



今年度は  
まず、単元に注目!!

# 研修の内容

## ◆教育課程と授業のつながりについて



## Q:なぜ単元なのか?

年間指導計画と授業  
個別の指導計画をつなぐ計画は

「**単元**」

年間指導計画を立てるときに、  
単元のおさえ方が課題

# 研修の内容

## ◆今日的な課題（教育課程の実施と学習評価）

### (1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

○単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。

### (2) 「指導と評価の一体化」の考え方に立った学習評価の改善

○単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

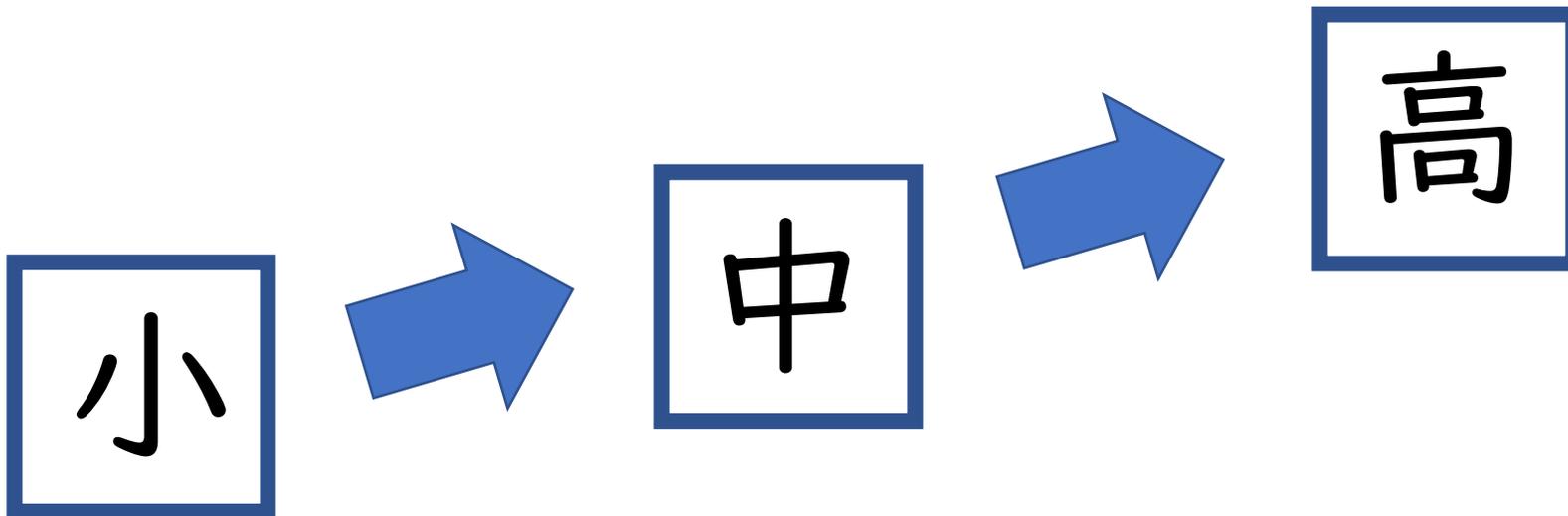
文部科学省『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（4. 教育課程の実施と学習評価）』より

単元計画の作成と活用を通して、育成を目指す資質・能力の育成と、指導と評価の一体化を目指す。

# 研修の内容

## 学部研修を通して、学校全体で行うカリキュラムマネジメント

全職員が携わることで、学部間でのつながりも重視でき、成果や課題を発見するとともに、効率的な教育課程の改善ができると考える。単元配列から学部教育課程、学校教育課程の充実を図っていくことが、全職員で行うカリキュラム・マネジメントとなる。



# 研修の内容

## 学部研修を通して、学校全体で行うカリキュラムマネジメント

カリキュラム・マネジメントには、授業時数や週時程等の再考も含まれている。

育成を目指す資質・能力を明確にしたうえで、各教科における授業配列は十分と言えるか、各学部で連携して検討していくことが重要。



# 研修の内容

令和4年度

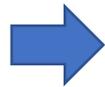
算数・数学科を抜粋



単元シートの作成



三観点による  
評価規準の設定



実態把握  
(学習到達度)



授業研修の実施  
教科の評価



教科の  
系統性・順序性の研修



年間単元配列表の作成

# 研修の内容

年間単元配列表					部門・学部（知的・小学部）				学年・グループ（高学年B）			
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	通年
領域	C図形				数と計算		測定			データの活用		
内容	・三角形、四角形、長方形、正方形				・具体物を数える ・具体物や数詞を ・数字で表す合成・分解、数の構成（個別）		・大小・多少の比較			・数の大小の比較		・1～10までの数唱
単元	同じ形を集めよう		描画～線を引こう～		数えてみよう		どっちが大きい？ 多いのはどっち？			今日の献立		
題材	三角形の名称を知る 四角形の名称を知る △と□を分類する		直線を描画する 定規で描画する 定規で△□を描画する		1～10まで数える 追視で数える		ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現する			同じ物に対応する 異なる物を分類する		10まで数える
教材	△□パズル		△□パズル 定規 点つなぎシート		キャラタイル 数字カード ドットカード		キャラカード（大小・多少） 比較シート			野菜玩具 キャラカード		数唱PP
成果課題反省	図形のみ、小学校2年生図形内容を取り扱い、そのほかの領域は小学部2段階の内容を取り扱った。指導順序や系統性を考慮すると、1学期に数と計算の領域を設定し、指導順序として配列を構成する必要があると感じた。 個別課題では内容が異なることが多かったため、個別課題も現単元の領域や内容にあわせて学習を展開していくことが必要であったと反省点としてあげている。											

各グループごとに  
今年度の  
算数・数学科の  
単元を年間で配列

# 研修の内容

年間単元配列表

年間単元配列表					部門・学部 ( 知的・小学部 )				学年・グループ ( 高学年B )											
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	通年								
領域	〇図形				数と計算				測定				データの活用							
内容	・三角形、四角形、長方形、正方形				・具体物を数える ・具体物や数詞を ・数字で表す合成・分解、数の構成 (個別)				・大小・多少の比較				・数の大小の比較				・1～10までの数唱			
単元	同じ形を集めよう		描画～線を引こう～		数えてみよう				どっちが大きい? 多いのはどっち?				今日の歌立							
題材	三角形の名物を知る 四角形の名物を知る △と□を分類する		直線を描画する 定規で描画する 定規で△□を描画する		1～10まで数える 透視で数える				ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現する				同じ物に対応する 異なる物を分類する				10まで数える			
教材	△□パズル		△□パズル 定規 点つなぎシート		キャラタイトル 数字カード ドットカード				キャラカード (大小・多少) 比較シート				野菜玩具 キャラカード 数唱PP							
成果 課題 反省	図形のみ、小学校2年生図形内容を取り扱い、そのほかの領域は小学部2段階の内容を取り扱った。指導順序や系統性を考慮すると、1学期に数と計算の領域を設定し、指導順序として配列を構成する必要があると感じた。 個別課題では内容が異なるが多かったため、個別課題も現単元の領域や内容にあわせて学習を展開していくことが必要であったと反省点としてあげている。																			

これを基に

年間指導計画

単元計画

指導略案

を作成し、教育課程の改善を図っていく

# 研修の様子 <第1回～第3回>

## ・内容

単元計画、指導略案の書き方について、教科の評価方法について（県）教育委員会特別支援教育室指導主事より講義を受け、ワークショップを行いました。



# 研修の様子 <第4回～第7回>

## ・内容

福岡大学徳永教授より、カリキュラム・マネジメントについて講義を受け、実際にSスケール等を用いて児童生徒の実態把握を行いました。



# 研修の様子 <第8回～第9回>

## ・内容

星本を参考にしながら、算数科の指導順序、系統性について教育センター学びの丘指導主事より講義を受け、グループワークを行いました。まとめとして、各学習グループで算数科の年間単元配列表を作成しました。

